

ウエスタン・オーストラリア州南西部の地生ランについて*

濱谷修一¹⁾

Observations of terrestrial orchids of south-west of Western Australia State.*

Shuichi Hamatani¹⁾

はじめに

オーストラリアは、独特の動植物の種を多く持ち、ラン科植物も例外ではない、オーストラリアには1000種を超えるラン科植物が分布し、着生ランと地生ランとがほぼ半分ずつを占めている。着生ランはほとんどが大陸北部の熱帯および亜熱帯地域に分布し、温帯地域に分布するランはほとんどが地生ランである。なかでも温帯地域に属する Western Australia State (ウエスタン・オーストラリア州) 南西部は300種を超える地生ランが分布し、地生ランの最大の産地となっている (Hoffman and Brown 1998)。

ウエスタン・オーストラリア州南西部は、冬から春にかけて降水量が多く、夏は乾燥する地中海性気候を示す。この地域の中心都市であるPerth (パース) は、夏 (12~2月) の平均気温が昼28℃、夜17℃、冬 (6~8月) は昼18℃、夜9℃と一日の気温格差が大変大きいという特徴を示す。

近年、オーストラリアの地生ランが日本国内に導入され、栽培機会が増えつつあるが、栽培方法はまだ手探りの段階である。これらの栽培方法の参考とするため、筆者は、1999年9月中旬に、約1週間パースに滞在し、パースおよび周辺地域の植物調査を行った (図1)。その際、20種あまりの地生ランを観察し、自生地の様子を調査した。

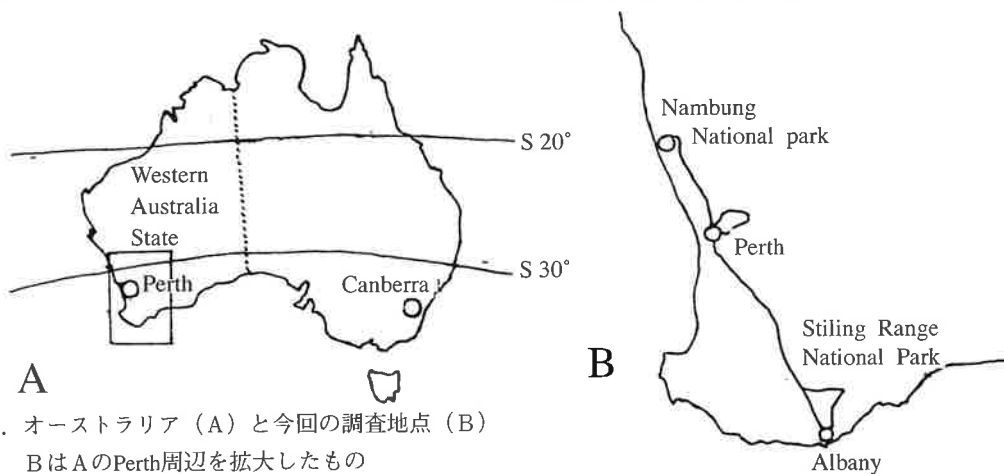


図1. オーストラリア (A) と今回の調査地点 (B)
BはAのPerth周辺を拡大したもの

* Contribution from The Hiroshima Botanical Garden No.66

1) The Hiroshima Botanical Garden

Bulletin of The Hiroshima Botanical Garden. No.19:11-17,2000.

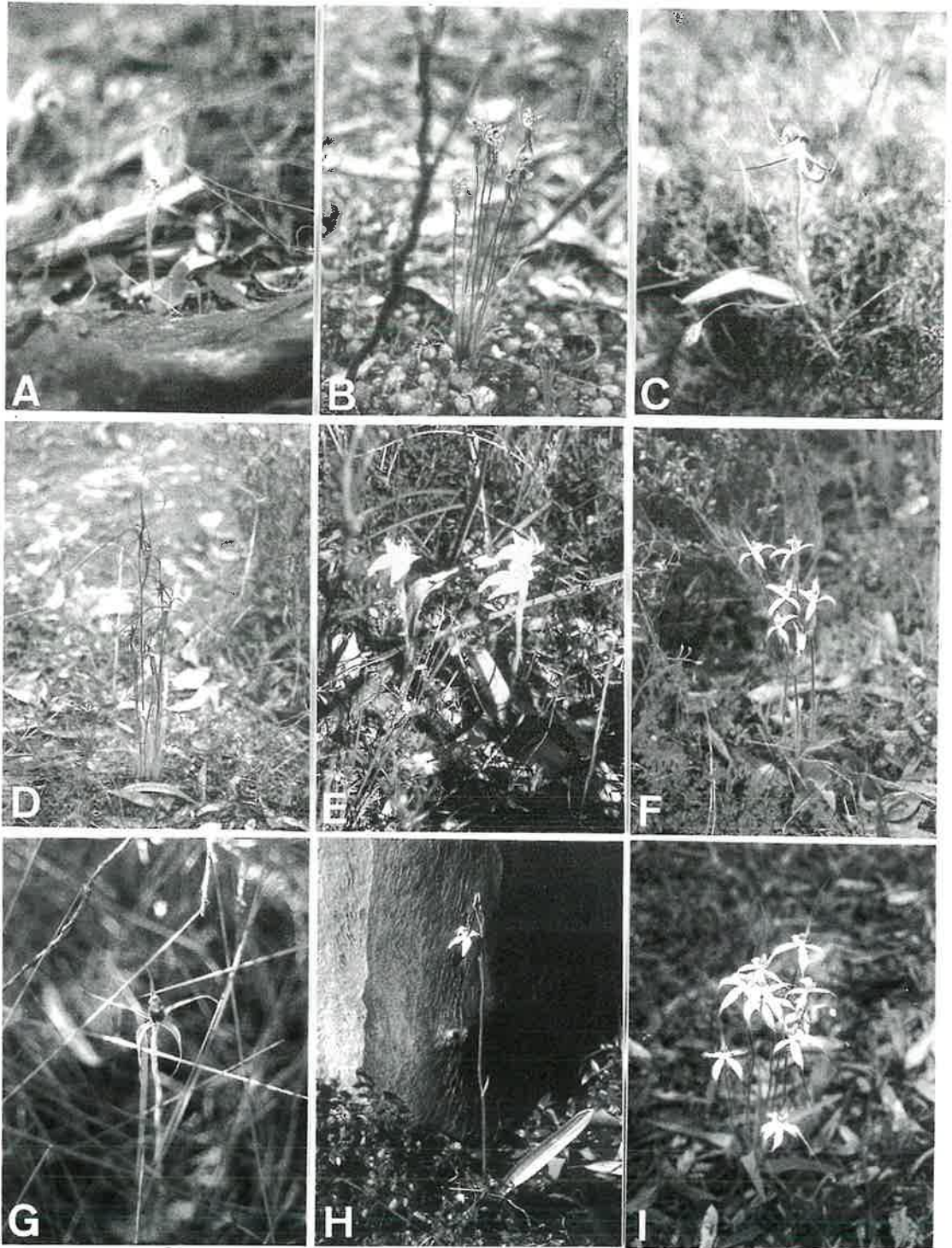


図2. 今回の調査で観察されたラン

A: *Caladenia bryceana*, B: *Caladenia cairnsiana*, C: *Caladenia falcata*, D: *Caladenia filifera*,

E: *Caladenia flava*, F: *Caladenia hirta*, G: *Caladenia huegelii*, H: *Caladenia latifolia*, I: *Caladenia longicauda*.

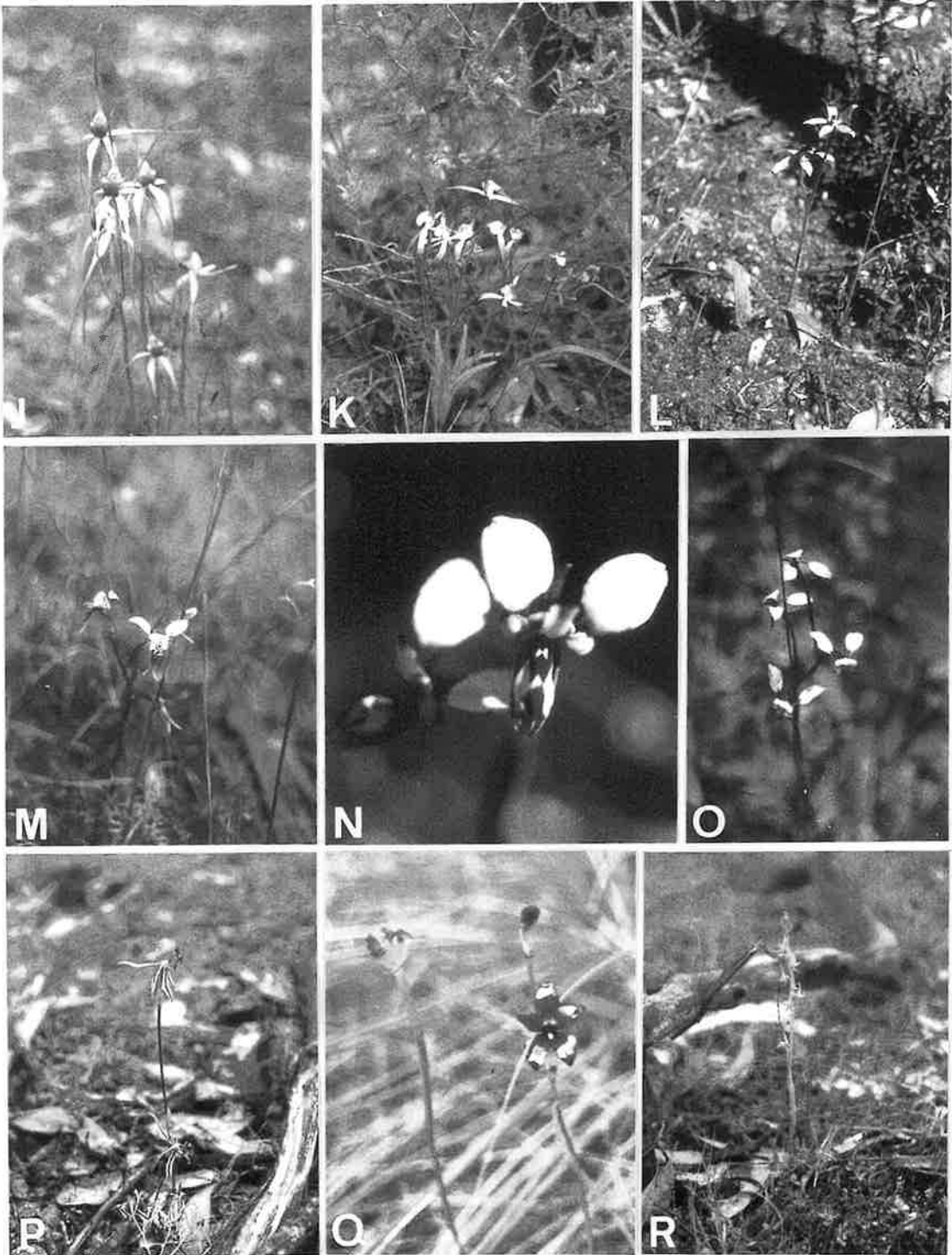


图 2 - 2 .

J: *Caladenia pectinata*, K: *Caladenia polycheroma*, L: *Cyanicula gemmata*, M: *Diuris corymbosa*, N: *Diuris micrantha*, O: *Diuris recurva*, P: *Drakonorchis barbarossa*, Q: *Elythranthera brunonis*, R: *Prasophyllum gracile*.

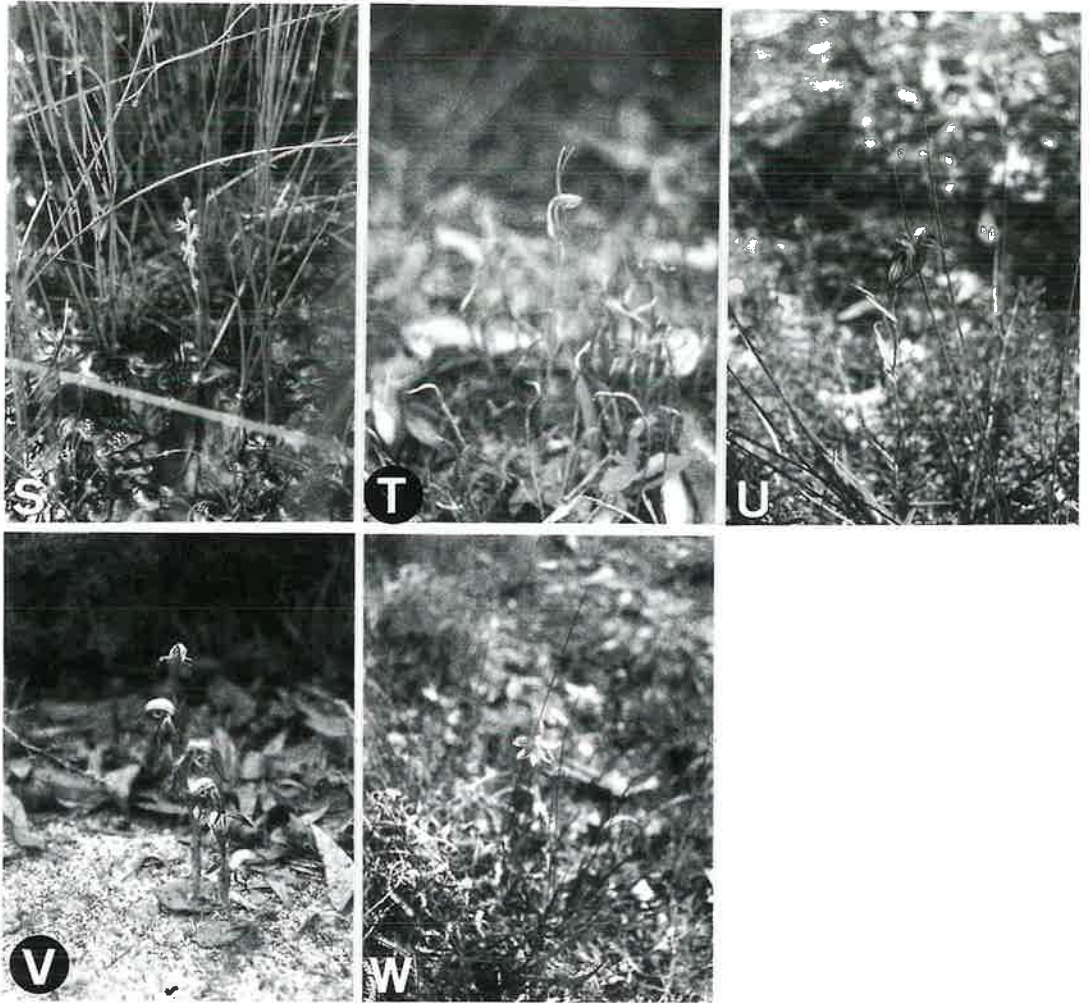


図2-3.

S: *Prasophyllum macrostachyum*, T: *Pterostylis nana*, U: *Pterostylis recurva*, V: *Pyrorchis nigricans*,
W: *Thelymitra antennifera*.

ウエスタン・オーストラリア州南西部の ラン自生地の状況

今回の調査で観察された地生ランのうち、23種を同定することができた(図2)。これらの種名、観察場所および自生地の概要を表1に示した。また、調査地点は図1に示した通りである。パース北方約

200kmの景勝地Pinnaclesで有名なNambung National Parkから、パース南西約300kmのAlbany(アルバニー)の間を、自動車を移動手段としてスポット的に調査した。なお、表1のKings Parkとはパース市内にある広大な公園で、敷地内の大部分が在来の生態系を保存した地域となっている。Stirling Range(スタイリングレンジ)はパース南西約250kmの地域に広がるStirling Range National Park内の何ヶ所かの地点を示している。

表 1. ウェスタン・オーストラリア南西部で観察されたラン科植物 (1999年9月)

植物名	英名	場所	自生地の状況*
<i>Caladenia bryceana</i> R.Rogers	Dwarf Spider Orchid	Stiling Range	A
<i>Caladenia cairnsiana</i> F.Muell.	Zebra Orchid	Stiling Range	A
<i>Caladenia falcata</i> (Nicholls) M.A.Clem. & Hopper	Fringed Mantis Orchid	Around Perth, Stiling Range	A
<i>Caladenia filifera</i> Lindley	Blood Spider Orchid	Stiling Range	A
<i>Caladenia flava</i> R.Br.	Cowslip Orchid	Kings Park, Around Perth, North of Perth, Stiling Range, Albany	A, B
<i>Caladenia hirta</i> Lindley	Sugar Candy Orchid	Stiling Range	A, B
<i>Caladenia huegelii</i> H.G.Reichb.	Grand Spider Orchid	Kings Park, Around Perth, Stiling Range	A
<i>Caladenia latifolia</i> R.Br.	Pink Fairies	Kings Park, East of Perth	A, B
<i>Caladenia longicauda</i> Lindley	White Spider Orchid	Around Perth, Stiling Range	A
<i>Caladenia pectinata</i> R.Rogers	King Spider Orchid	Stiling Range	A
<i>Caladenia polycheroma</i> Hopper & A.P.Brown	Joseph's Spider Orchid	Stiling Range	A
<i>Cyanicula gemmata</i> (Lindley) Hopper & A.P.Brown	Blue Chiona Orchid	East of Perth	A
<i>Diuris corymbosa</i> Lindley	Common Donkey Orchid	East of Perth, Albany	A, D
<i>Diuris micrantha</i> D.L.Jones	Dwarf Bee Orchid	East of Perth	D
<i>Diuris recurva</i> D.L.Jones	Mini Donkey Orchid	East of Perth	A
<i>Drakonorchis barbarossa</i> (H.G.Reichb.) Hopper & A.P.Brown	Common Dragon Orchid	Stiling Range	A
<i>Elythranthera brunonis</i> (Endl.) A.S.George	Purple Enamel Orchid	Kings Park	B
<i>Prasophyllum gracile</i> Lindley	Little Laughing Leek Orchid	Stiling Range	C
<i>Prasophyllum macrostachyum</i> R.Br.	Laughing Leek Orchid	Albany	E
<i>Pterostylis aff. nana</i>	Snail Orchid	Stiling Range	C
<i>Pterostylis recurva</i> Benth.	Jug Orchid	Kings Park, Around Perth, Stiling Range	A, B
<i>Pyrorchis nigricans</i> (R.Br.) D.L.Jones & M.A..Clem.	Red Beaks	Stiling Range	A
<i>Thelymitra antennifera</i> (Lindley) J.D.Hook.	Lemon-scented Sun Orchid	East of Perth	B

調査時期 1999年9月18日～23日。すべて開花中

* A: 明るい疎林の林床、B: 灌木がまばらに生える草原、C: 疎林内のコケが生えているところ、D: 明るい半湿地、E: 明るい湿地

ラン科植物は、今回1ヶ所でしか観察されなかった種があれば、何ヶ所かで観察された種もあった。自生地の環境を比較すると、表1に示したように、おおまかに5つに分けることができ、以下に示すように、それぞれのランが生育する場所の特徴づけを

することができた。

最も多くの種類のランが明るい疎林の林床(図3)において観察された。これらの疎林のほとんどは、高木層が何種類かのユーカリまたはアカシアだけからなる単調な構成で、その下は高さ1～2m程度の



図3. 明るい疎林

A: パース郊外にて、B: スタイリングレンジにて

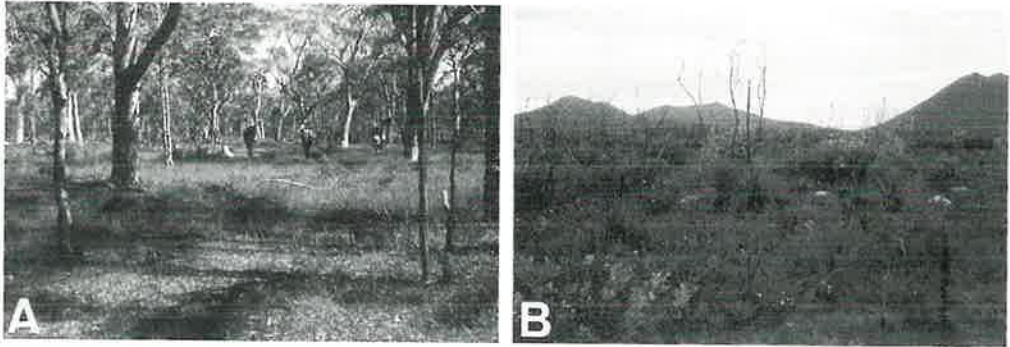


図4. 灌木がまばらに生える草原

A: パース郊外にて (高木が無い部分)、B: スタイリング レンジにて

低木から中木層に相当する植物がまばらに存在していた。亜高木層に相当する植物ほとんど無く、高木層と低木～中木層との間には大きな空間が存在した。林床部は草本類や匍匐性の木本植物がまばらに存在し、ラン科植物はWhite Gumと呼ばれる大きなユーカリの株の周囲に多く生育していた。高木層の樹木は密には生えておらず、訪れた時期が春で、葉が十分に茂っていなかったこともあるが、林床に十分に光が届いていた。

次に多くの種類が観察されたのが灌木がまばらに生える草原 (図4) で、ここでは、高木層が無いがあっても非常にまばらで、灌木がパッチ状に生える周りを草本類や匍匐性の木本植物が被い、ラン科植物はその中に生育していた。なお、これら2タイプの植生を、現地では「ブッシュランド (Bushland)」と呼んでいる。

ウエスタン・オーストラリア州南西部は冬から春が雨季で、夏には厳しい乾季が認められることから、ラン科植物は夏に休眠するものが多いが、明るい疎林の林床のユーカリの株元で暮らすランは、落ち葉や根圏の持つ保水力といったユーカリの恩恵で極端な土壌の乾燥から免れている可能性が高い。一方、草原に生育する主はかなりの土壌の乾燥が想像された。また、*Prasophyllum gracile*や*Pterostylis nana*は、同じ林床でもいわゆるヤマゴケのようなコケが生えている中、すなわち土壌水分のより多い場所に生育していた。

湿地に生えるランは3種観察された。このうち、*Diuris corymbosa*はパース近郊では明るい疎林の林床で、アルバニーでは日当たりがよく水がしみだしてコケが多く生えている半湿地で観察され、観察された2ヶ所で自生地の状態が異なった。また、

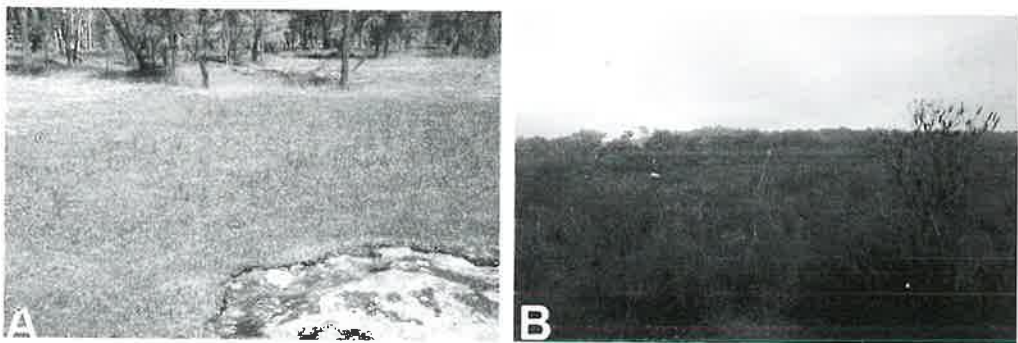


図5. 湿地

A: パース郊外の明るい半湿地、B: アルバニー郊外の湿地 (ひざから背丈くらいの高さの草や灌木が覆い茂っている)

*Diuris micrantha*は調査時には水がたまっておらず半分乾いたような土壌に生育していた (図 5-A)。この場所は、雨が降ったときに水溜りになると推測される。また、*Prasophyllum macrostachyum*は十分な水が存在する湿地に生育していた (図 5-B)。

自生地の土壌pHを数ヶ所で測定したがいずれも5.5~6.5の間の値を示した。

摘 要

1999年9月、ウエスタン・オーストラリア州南西部に分布する地生ラン20数種の観察を行い、自生地の様子を調査した。種により生育地の状況に違いが見られ、多くの種は明るい疎林の林床部または灌木がまばらに生える草原に生育し、一部の種は湿地に生育していた。

謝 辞

本調査を行うにあたり、Kings Park & Botanic

GardensのKingsley Dixon博士、およびStiling Range RetreatのAyleen Sands氏には並々ならぬご協力をいただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げる。

Summary

Habitats of over 20 species of terrestrial orchids in south-west of Western Australia, Australia were observed in September 1999. They could be sorted into some patterns; most of the species were seen on the ground of open forests or grasslands with straggling bushes, and some were seen in the open wetland.

参考および引用文献

Hoffman, N. and A. Brown 1998. Orchids of south-west Australia. Univ. of W. Australian Press.

昭文社旅行書編集部1999. 個人旅行16 オーストラリア '99~'00. 昭文社.